償却資産申告書の記入例

1 住所　2 氏名
・法人の場合
本社（店）の所在地を記入してください。納税通知書の送付先が別にある場合は括弧書きで記入してください。
・個人の場合
所有者の住所・氏名を記入してください。

3 個人番号または法人番号
個人の方は１２桁の番号を、法人にあっては１３桁の法人番号を記入してください。

4,事業種目
事業種目・資本金額を記入してください
5,事業開始年月
6,この申告に応答する者の係及び氏名
氏名及び電話番号を記入してください。
7,税理士等の氏名
氏名及び電話番号を記入して下さい。

令和　６　年度　償却資産申告書（償却資産課税台帳）

受付印	令和６年　１月２１日 宮崎県西臼杵郡○○○町長　様

※所有者コード
記入不要

第二十六号様式（提出用）　※印の欄は記入しないでください。

所有者 1 住所（又は納税通知書送付先）	○○○町○○　１番地１	3 個人番号又は法人番号	012345678912	8 短縮耐用年数の承認	有・(無)
		4 事業種目（資本金等の額）	○○○○	9 増加償却の届出	有・(無)
	電話　○○○○－○○－○○○○		5 百万円	10 非課税該当資産	有・(無)
		5 事業開始年月	平成１０年５月	11 課税標準の特例	有・(無)
2 氏名（ふりがな）（法人にあってはその名称及び代表者の氏名）	かぶしきがいしゃ ○○○○ 株式会社　○○○○ ○○　○○ 代表取締役　○○　○○	6 この申告に応答する者の係及び氏名	○○　○○ （電話 ○○○○－○○－○○○○）	12 特別償却又は圧縮記帳	有・(無)
				13 税務会計上の償却方法	(定率法)・定額法
		7 税理士等の氏名	（電話　　）	14 青色申告	(有)・無
	屋号				

資産の種類		取得価額（単位：円）前年前に取得したもの（イ）	前年中に減少したもの（ロ）	前年中に取得したもの（ハ）	計（（イ）－（ロ）＋（ハ））（ニ）
1	構築物	3,000,000		300,000	3,300,000
2	機械及び装置	1,000,000	300,000	800,000	1,500,000
3	船舶				0
4	航空機				0
5	車両及び運搬具				0
6	工具、器具及び備品	800,000	500,000	400,000	700,000
7	合計	4,800,000	800,000	1,500,000	5,500,000

15 市（区）町村内における事業所等資産の所在地	① ○○○町大字○○　○○番地 ②
	③
16 借用資産	貸主の名称等
(有)・無	□□リース
17 事業所用家屋の所有区分	(自己所有)・借家
18 備考（添付書類等）	
1 増加　　枚	
2 減少　　枚	
3 増減なし	
4 事業の閉鎖等	
平成・令和　　年　　月　　日	
5 その他	

資産の種類		評価額（ホ）	※決定価格（ヘ）	※課税標準額（ト）
1	構築物			
2	機械及び装置			
3	船舶			
4	航空機			
5	車両及び運搬具			
6	工具、器具及び備品			
7	合計			

記入不要
ただし、自社電算（電算処理）による申告を行う場合は、記入してください。

8,9,10,11,12,13,14
該当する方を○で囲んでください。短縮耐用年数の承認や増加償却の届け出をされた方は、その写しを添付してください。

15 事業所等の資産の所在地
申告書の提出先と同一の町内にある事業所等の資産所在地について、追加又は変更がある場合は記載してください。

16 借用資産
借用（リース）資産の有無について該当する方を○で囲んでください。
借用資産がある場合は、その借主（リース会社など）の名称等を記入してください。

17 事業所用家屋の所有区分
事業所用家屋の所有区分に該当する方を○で囲んでください。どちらも該当する場合は両方を丸で囲んでください。

イ 前年前に取得したもの
今まで申告している方は、申告された資産の全部について、その取得価額が記入してあります。本年はじめて申告される方については新たに記入してください。

ロ 前年中に減少したもの
前年中に減少した資産の取得価額の合計額を種類別に記入してください。

ハ 前年中に取得したもの
前年中に所得した資産の取得価額の合計額を種類別に記入してください。

ニ 計((イ)-(ロ)+(ハ))
本年度の賦課期日に所有している資産の取得価額の合計額を種類別に記入してください。

18 備考（申告内容）
資産の異動について、該当するものを○で囲んでください。前年中に所有者住所・氏名等に異動があった場合は、異動年月日、旧住所など参考となる事項を記入してください。
その他、法人成、事業継承など特記すべき事項があれば詳細に記入してください。